

ニュース・リリース

欧州ノンロード・エンジン第5次排出ガス規制(通称“EU Stage V”)に適合 ミニショベルの新製品『TB235-2』(3.5トン)、『TB250-2』(5.0トン)を発売

小型建設機械を開発・製造・販売する株式会社竹内製作所(本社/長野県埴科郡坂城町、代表取締役社長/竹内明雄)は、欧州ノンロード・エンジン第5次排出ガス規制(以下、“EU Stage V”)に適合したミニショベルの新製品『TB235-2』及び『TB250-2』を2019年2月より販売開始しますので、お知らせいたします。

ミニショベルは、製品質量が6トン未満の小型建設機械で、主な用途は「狭い場所」で「掘削する」ことです。具体的には、住宅建設の基礎工事、配管工事(水道管やガス管等)や道路工事といった公共インフラ工事、企業の工場や商業施設等の建設工事、公園や庭に木を植える造園工事、老朽化した建物の補修・解体工事など、主に居住区域における現場で使用されます。街づくりとそのメンテナンスには欠くことのできない製品として、毎日の暮らしを支えています。なかでも当社のミニショベルは、その掘削力のみならず、優れた耐久性、滑らかな操作性、長時間作業でも疲れにくい快適性等を強みとして、お客様の信認を得てまいりました。

○ 『TB235-2』及び『TB250-2』の主な特長

- (1) 既存製品の『TB235』及び『TB250』の後継機種で、“EU Stage V”に適合しました。
- (2) 内外装のデザインを一新し、運転席からの視界性が向上しました。オペレーターの死角が減り、より安全な作業に貢献します。
- (3) エンジンや油圧機器の配置を見直したことにより、メンテナンス性の向上だけでなく、運転席の居住空間も拡大されました。
- (4) バケット及びアタッチメントの制御を改良し、より直感的かつ滑らかに操作できるようになりました。
- (5) 運転席近くの液晶モニターの機能を強化し、作業用アタッチメントを動かすための作動油の流量を液晶モニターで調整・登録できるようになりました。アタッチメントの交換のたびに必要な動作調整がスムーズになりました。

掘削力、耐久性、操作性など当社製品が持つ強みはそのままに、“EU Stage V”による排出ガス規制に適合した新製品『TB235-2』及び『TB250-2』により、市場でのシェア拡大を着実に進めてまいります。

EU Stage V について

欧州において、ノンロード移動機械(自動車ではない移動機械)に搭載されるエンジンに対する新しい排出ガス規制です。エンジン出力値により、2019年1月または2020年1月に規制が順次開始されます。これまでが第4次段階(Stage IV)であったことから、通称“EU Stage V”と呼ばれています。



TB235-2



TB250-2



◎ 販売開始

2019年2月

◎ お問い合わせ先

株式会社竹内製作所 経営管理部 経営企画課 阪井 大志

〒389-0605 長野県埴科郡坂城町上平 205 TEL:0268-81-1200

以上